

令和6年度 全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙の調査結果について①

豊かな人間性・他者との関わりについて

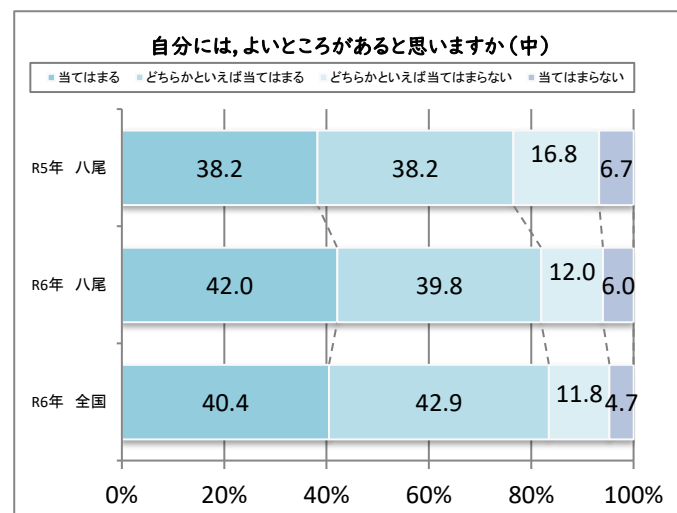
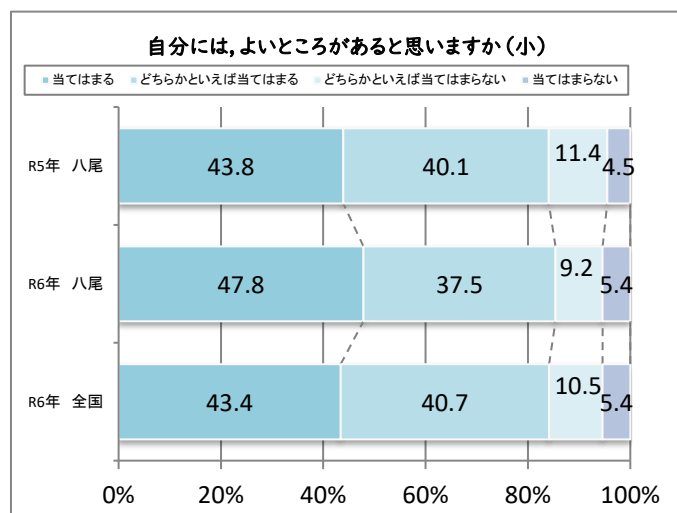
●・・・成果 ◆・・・課題 ■・・・今後の展望

- 小・中学校ともに「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と答えた子どもの割合が増加した。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた子どもの割合は、約95%となっている。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」について、強肯定で回答した子どもの割合が、増加した。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と答えた子どもの割合が、小・中学校ともに増加した。
- 「豊かな人間性・他者との関わり」について、肯定的回答が増加し改善が見られた項目が多かった。しかし、全国と比較すると、改善の余地のある項目も多いため、発達支持的生徒指導やキャリア教育、集団づくり等の推進をはかっていくことが必要だと考えられる。

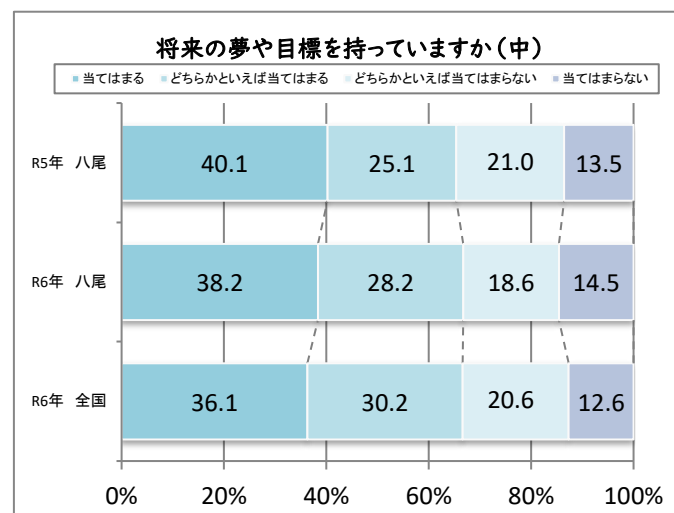
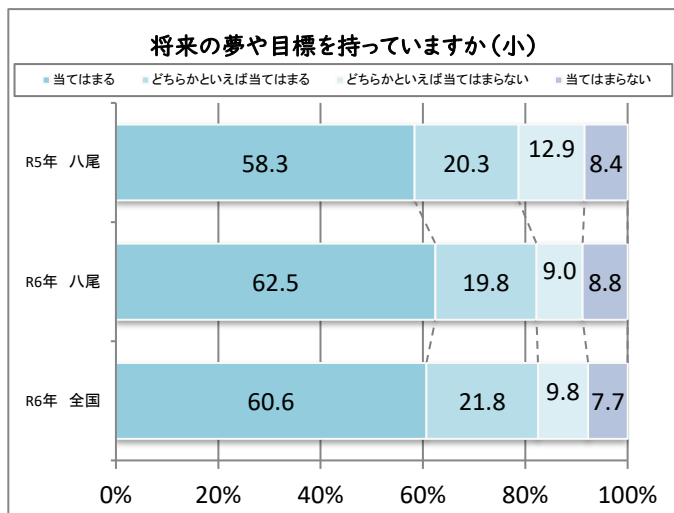
《 調査について 》

※グラフ内の数値は、無回答はデータに反映していないため、合計値は100にならない場合がある。
※小学校63調査設問、中学校65調査設問のうち、市として重点を置いている項目を抜粋して記載している。

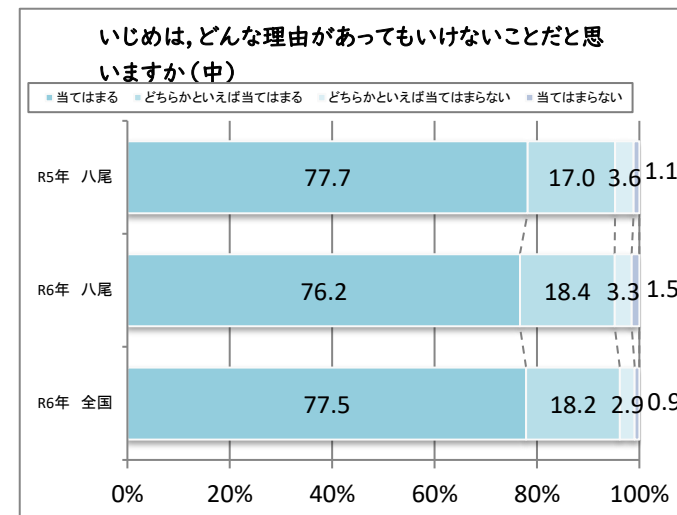
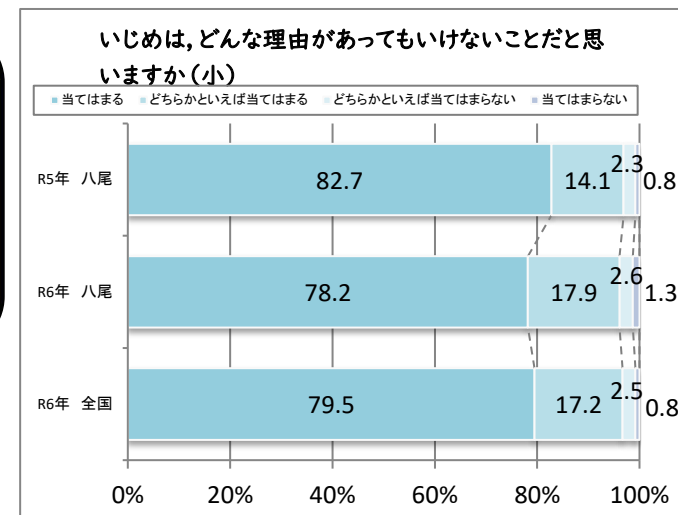
自己肯定感について



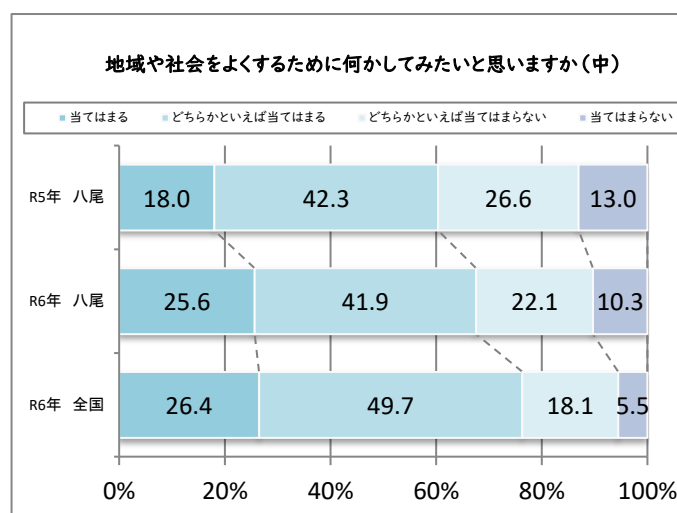
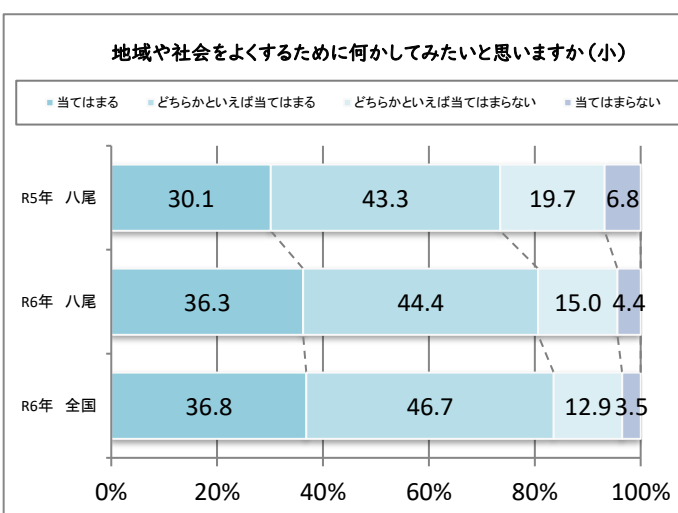
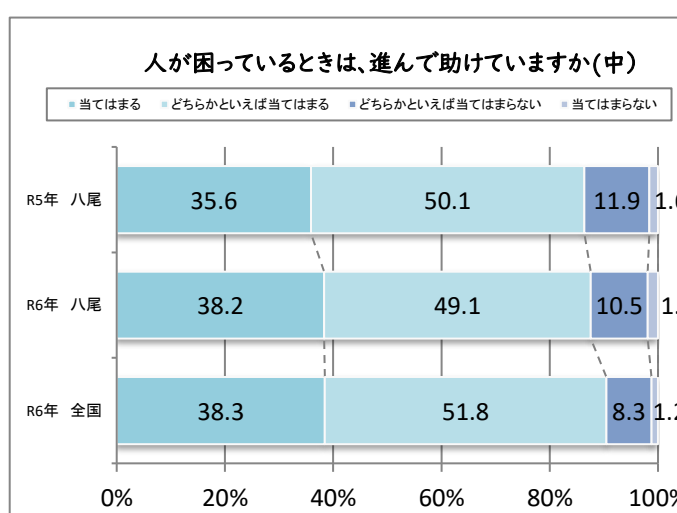
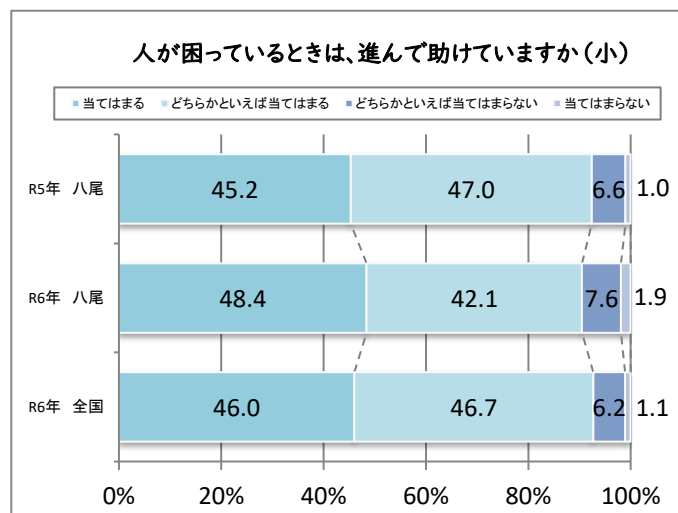
将来の夢について



いじめについて



他者との関わりについて



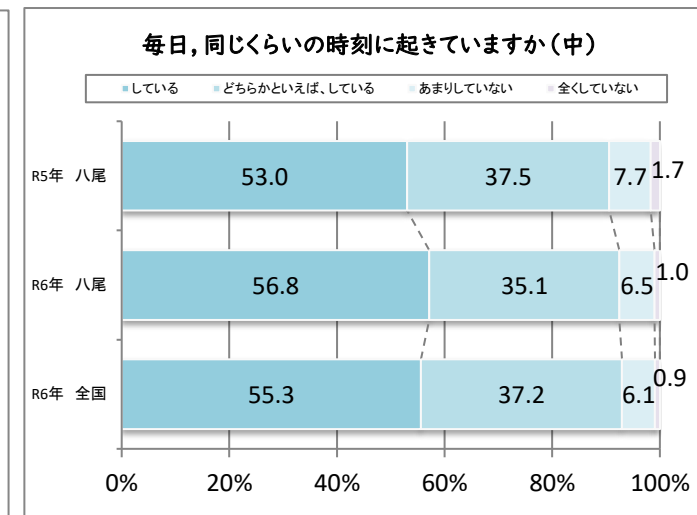
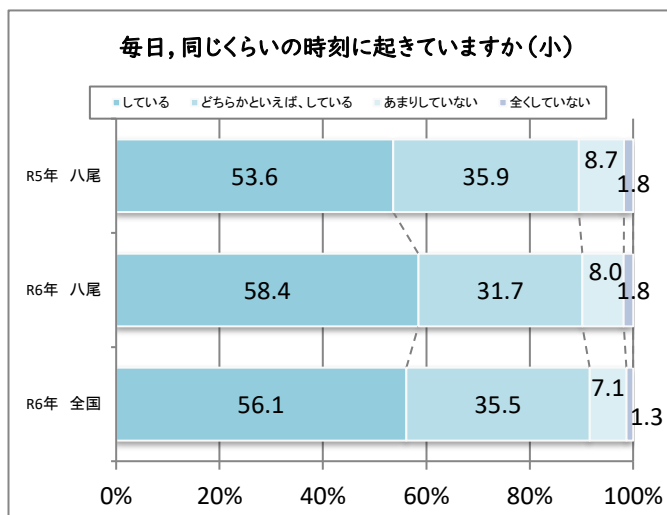
令和6年度 全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙の調査結果について ②

基本的生活習慣・読書環境について

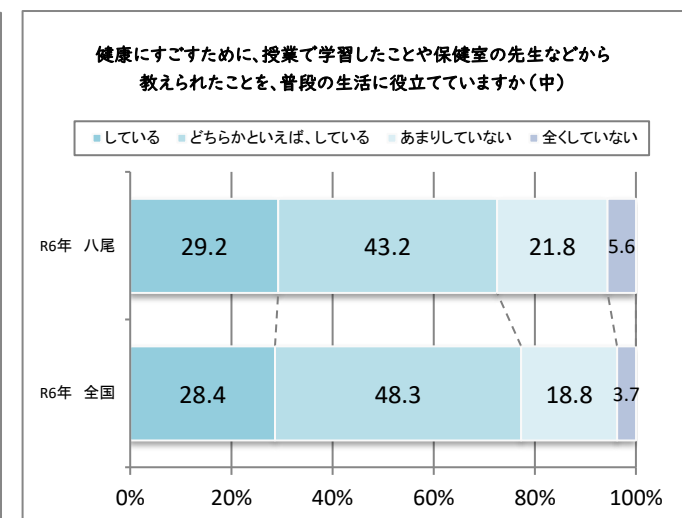
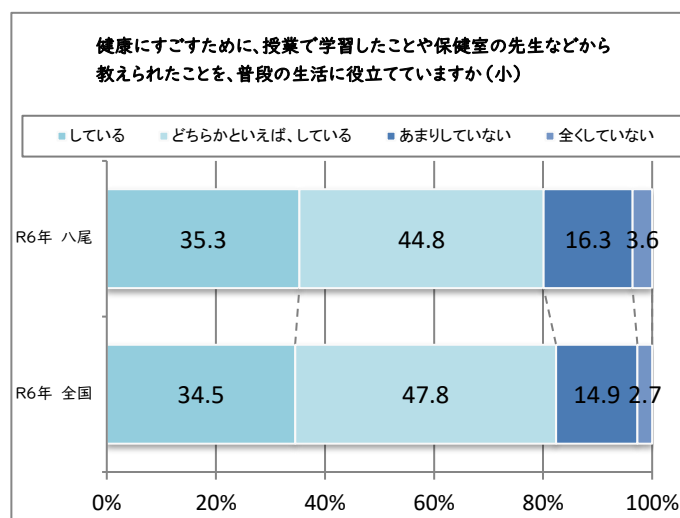
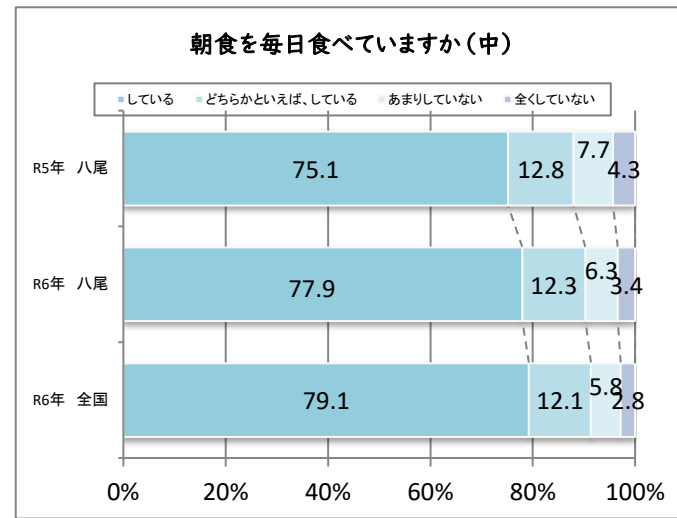
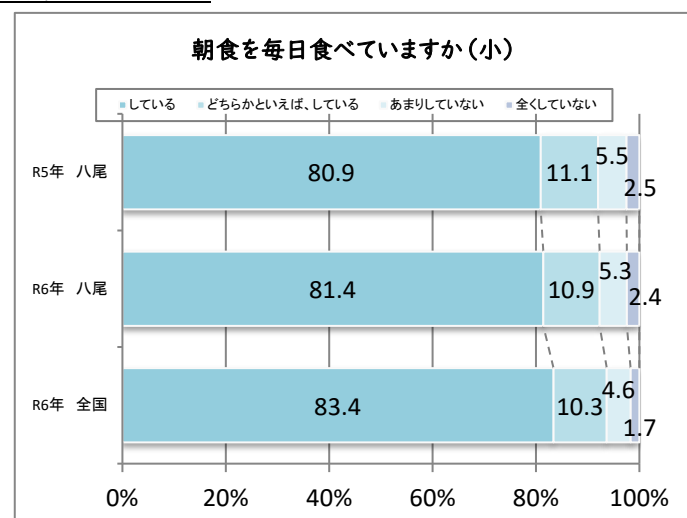
●・・・成果 ◆・・・課題 ■・・・今後の展望

- 小学校では、「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている」と答えた子どもの割合が増加した。
- ◆小・中学校ともに「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てています」と答えた子どもの割合は、全国と比較すると、低い結果だった。
- ◆小・中学校ともに「新聞をほとんど、または全く読まない」と答えた子どもの割合は、全国と比較すると、高い結果だった。
- 「基本的生活習慣」について、すべての項目で肯定的回答が増加し改善が見られた。しかしながら、全国と比較すると、改善の余地のある項目も多いため、家庭への啓発や連携をはかっていくことが必要だと考えられる。

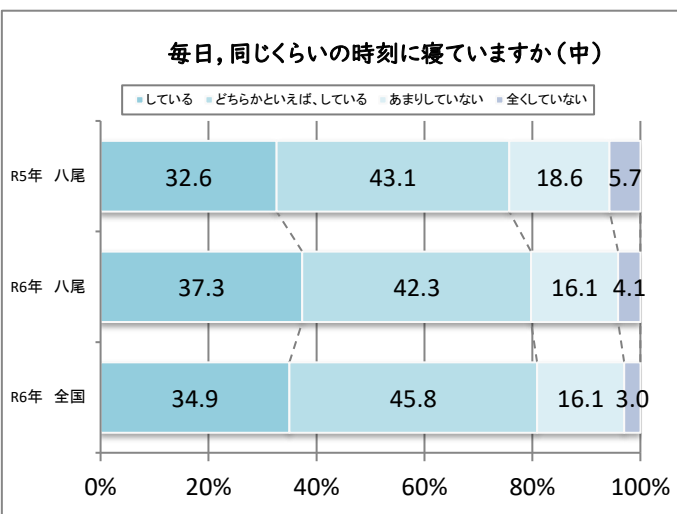
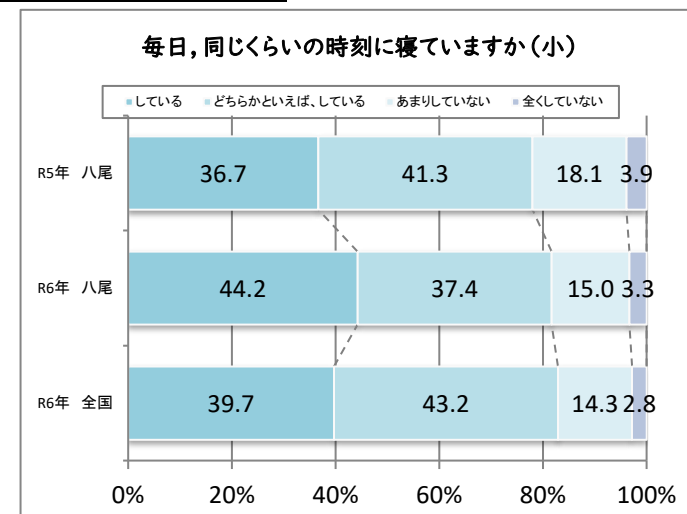
起床時刻について



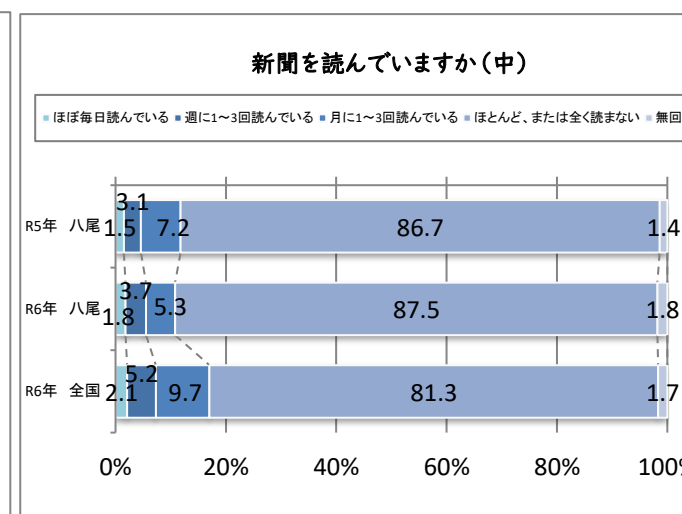
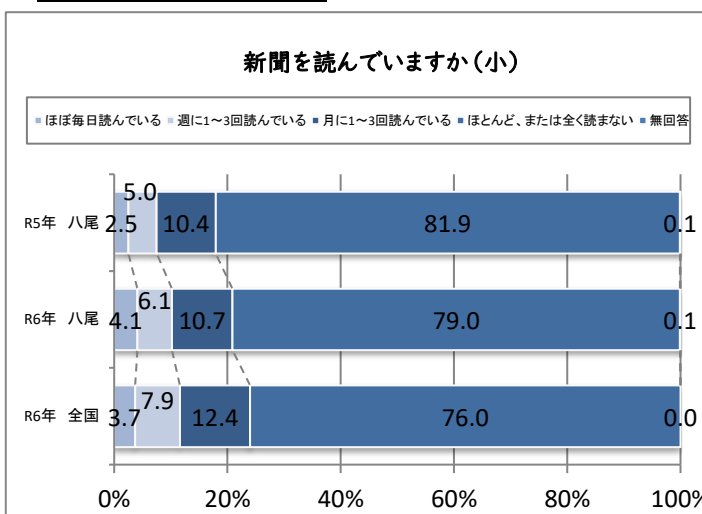
朝食について



就寝時刻について



読書活動について



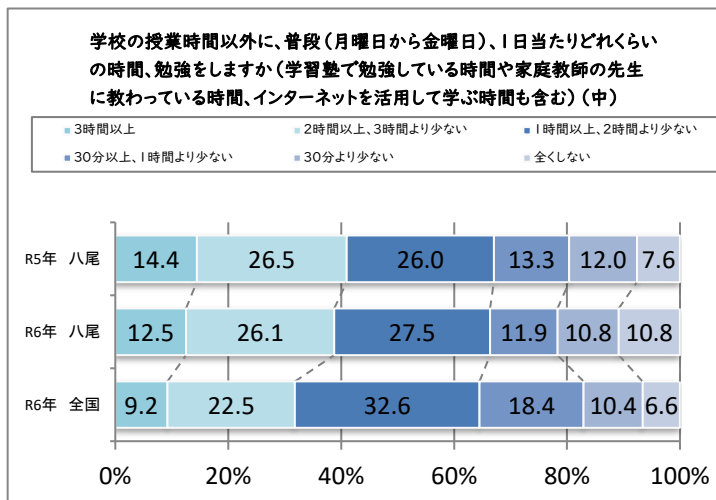
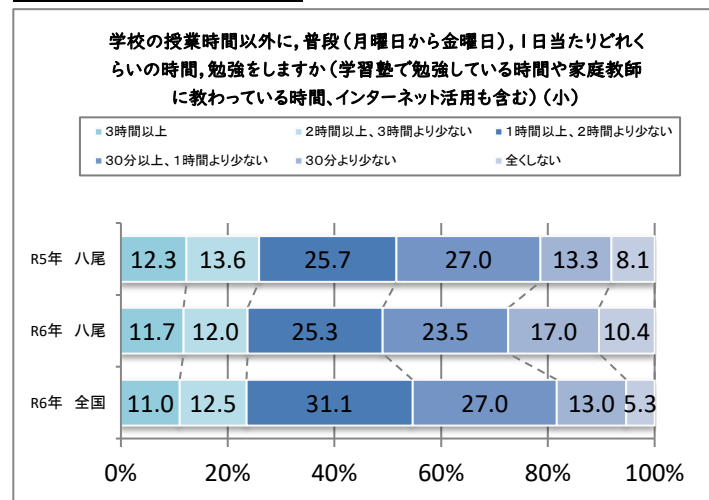
令和6年度 全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙の調査結果について ③

自学自習・ICT機器の活用・授業について

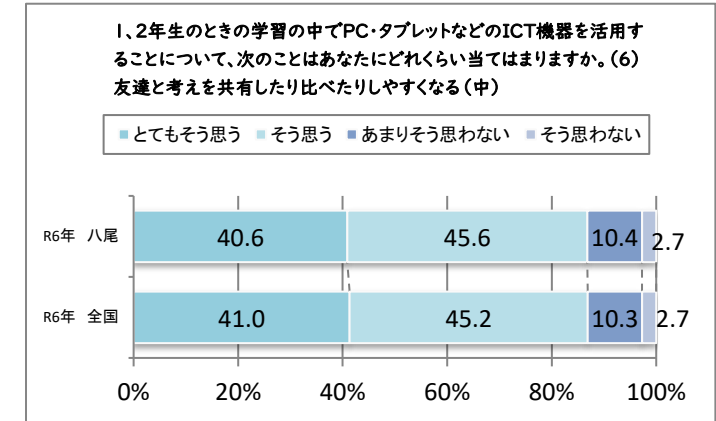
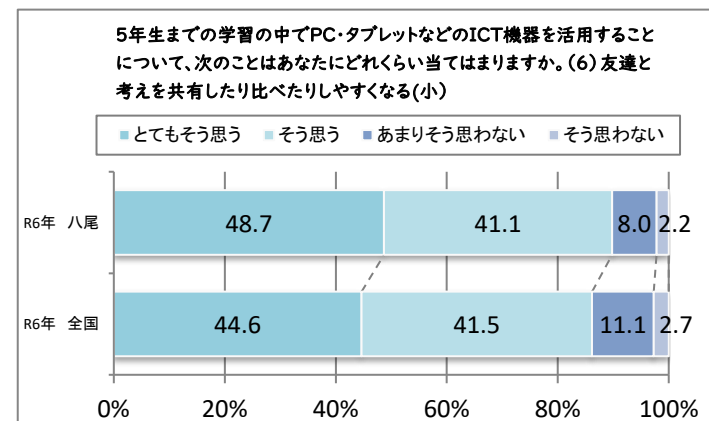
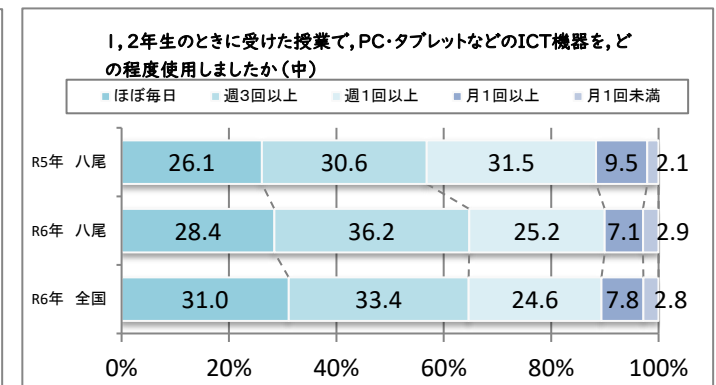
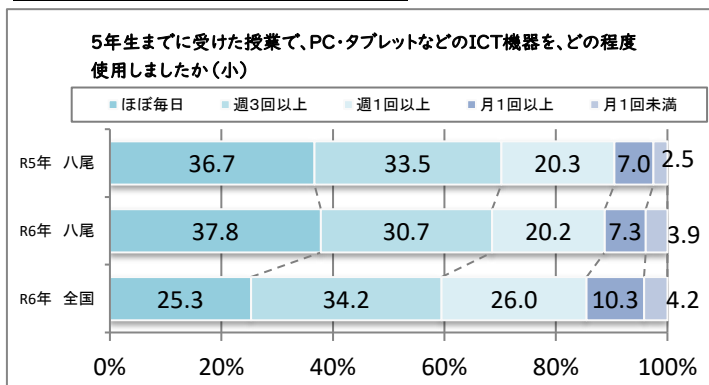
●・・・成果 ◆・・・課題 ■・・・今後の展望

- ◆◆「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりしている勉強時間」について、全国と比較すると、2時間以上勉強していると答えた子どもの割合は高いが、全くしないと答えた子どもの割合も高い。
- 小・中学校ともに「PC・タブレットなどのICT機器を毎日使用している」と答えた子どもの割合は、増加した。また、週3回以上使用していると答えた子どもの割合は、全国と比較すると、高い結果だった。
- 「PC・タブレットなどのICT機器を活用すると友達と考えを共有したり比べたりしやすい」と答えた子どもの割合を全国と比較すると、小学校では高く、中学校では同値だった。
- 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と答えた子どもの割合や、「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う」と答えた子どもの割合は、小・中学校ともに増加した。
- ◆「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる」と答えた子どもの割合は、全国と比較すると、低い結果だった。
- 家庭において学習しない児童・生徒への啓発や、授業づくりにおいて、対話的で深い学びを推進し、考えの形成がてきる授業づくりを進めていく必要がある。

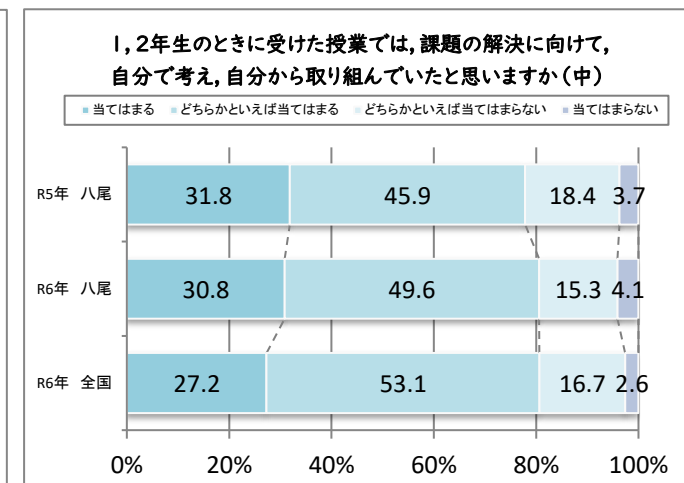
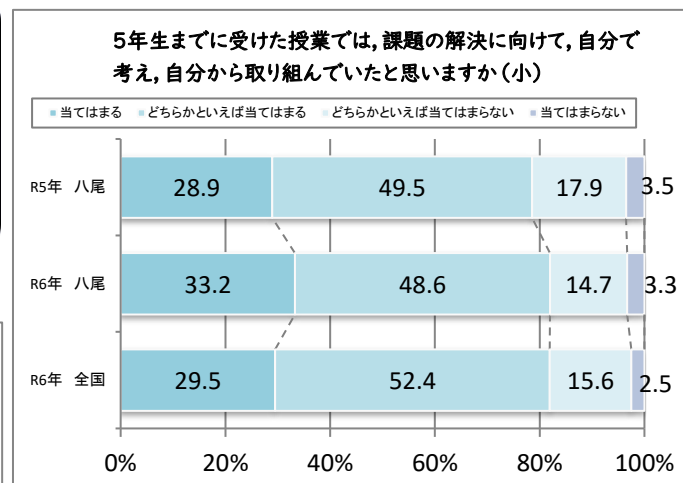
自学自習について



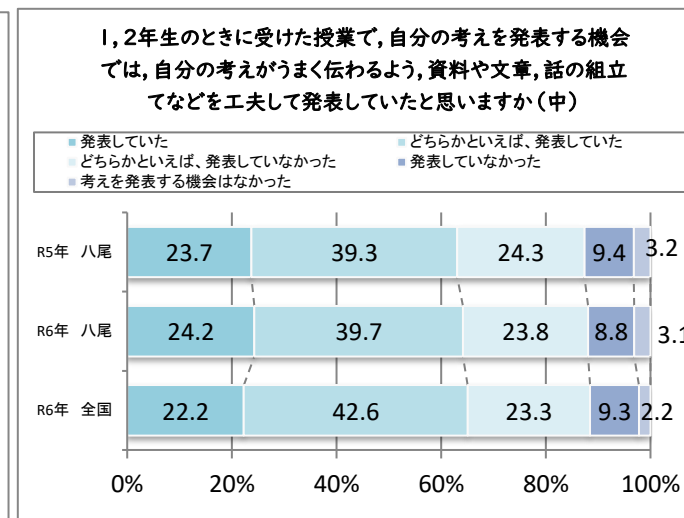
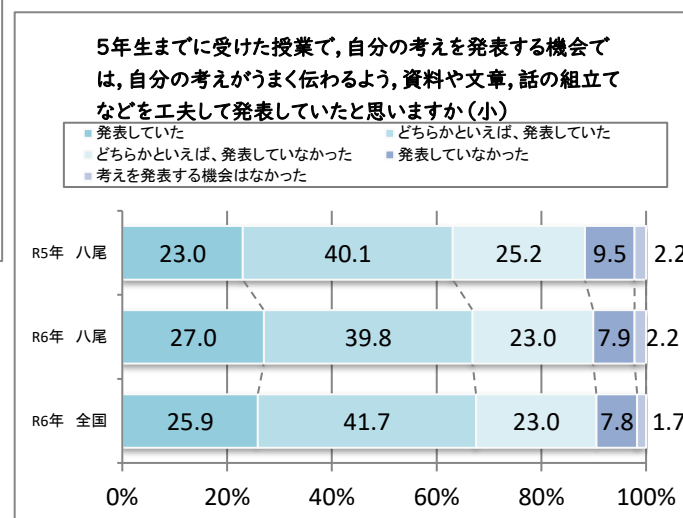
ICT機器の活用について



授業における主体性について



授業における発表の工夫等について



授業における話し合う活動について

